

第114期報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

堀田丸正株式会社

証券コード：8105

ごあいさつ



代表取締役社長 **大西雅美**

投資家の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政治動向や北朝鮮情勢への警戒感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成29年6月にRIZAPグループに加わり、グループ内のシナジー効果を活かして構造改革を実施し、事業ポートフォリオの再構築と成長が見込める収益事業の強化に取り組んでおります。平成29年7月には洋装事業において百貨店取引を中心とした婦人服卸の馬里邑事業部を新設しました。

既存事業では、事業所の統廃合や固定費の圧縮、在庫の再評価を行い、事業環境の厳しいブランド事業の譲渡等により、構造改革を進めてまいりました。

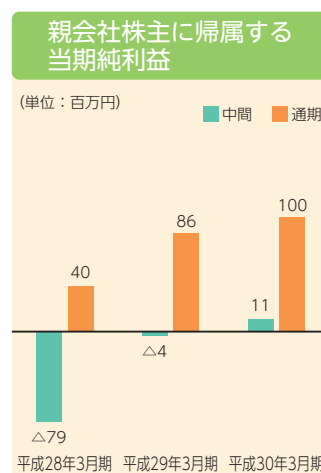
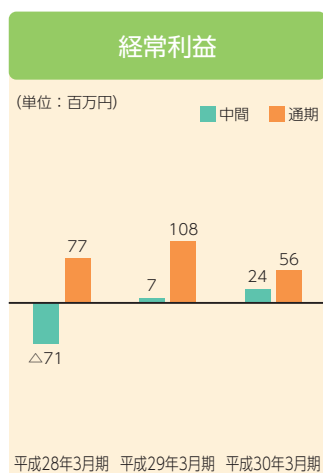
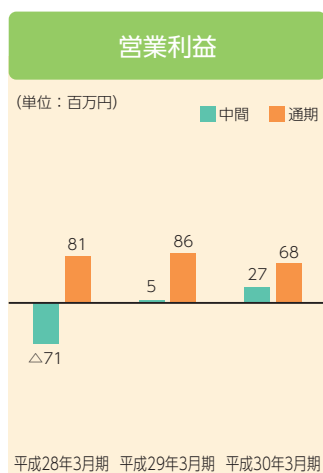
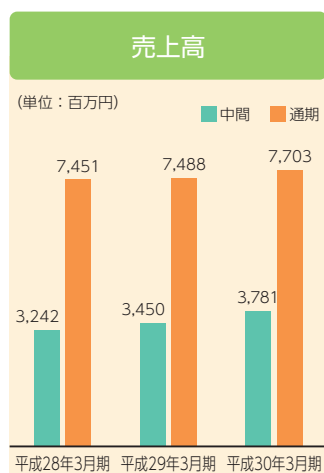
これらの結果、当連結会計期間の業績は、売上高77億3百万円（前期比2.9%増）、営業利益は68百万円（前期比21.0%減）、経常利益は56百万円（前期比47.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円（前期比15.8%増）となりました。

このような状況のもとにあって当社グループは、「海外展開の強化」「E C活用によるB to Bビジネスの構築」「技術を活かした新商品の開発」「事業領域の拡大」を推進することにより、今後も安定的な利益確保を目指してまいります。

投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年6月

業績ハイライト



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計 年度末 平成30年3月31日	前連結会計 年度末 平成29年3月31日
流動資産	5,838	3,503
固定資産	531	957
資産合計	6,369	4,460
流動負債	1,571	1,568
固定負債	48	69
負債合計	1,619	1,638
純資産合計	4,750	2,821
負債・純資産合計	6,369	4,460

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	前連結会計年度 平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△480	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	521	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,547	△459
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,588	△326
現金及び現金同等物の期首残高	488	815
現金及び現金同等物の期末残高	2,076	488

セグメント情報

意匠燃糸事業

売上高 **2,177** 百万円
セグメント別
売上高比率 **28.3** %



意匠燃糸事業は、国内事業はアパレル向けの販売が好調に推移しましたが、糸商向けの販売が苦戦したため、売上高は微減となりましたが、

粗利益率の改善と販管費の削減により営業利益は伸長しました。中国事業は欧州向けの取引が減少しましたが、日本市場向けが伸長し売上高、営業利益とも改善いたしました。横ニット専業企画卸は昨年末にブランド事業を譲渡した影響により減収減益となりました。この結果、売上高21億77百万円(前期比0.4%減)、営業利益は1億73百万円(前期比13.2%減)となりました。

和装事業

売上高 **1,901** 百万円
セグメント別
売上高比率 **24.7** %

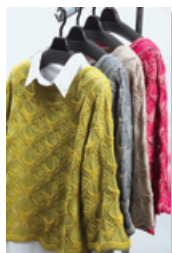


和装事業は、百貨店・専門店取引ともに得意先の減少や大型催事の縮小、市況の悪化により売上高は減少いたしました。和装小物事業も大手量販店取引の不振により売上高

は減少いたしました。RIZAPグループ入りした6月以降に取り組んだ事業所の統廃合や固定費等の圧縮などを行った構造改革により、第2四半期以降は収益改善が進みましたが、在庫の再評価を行った結果、営業赤字となりました。この結果、売上高19億1百万円(前期比15.3%減)、営業損失は39百万円(前期は営業利益6百万円)となりました。

洋装事業

売上高 **3,053** 百万円
セグメント別
売上高比率 **39.6** %

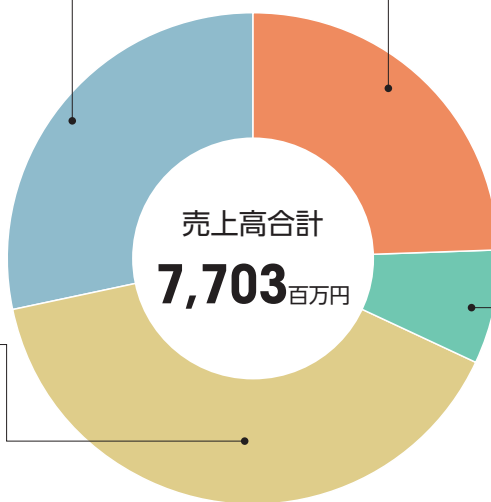


洋装事業は、平成29年7月に新設した馬里邑事業部が寄与し、売上高、営業利益ともに大幅に伸びました。百貨店取引は新規得意先の増加に加え、既存売上も好調に推移しました。専門店取引は卸販売が苦戦しましたが、第3四半期より新設した催事部門が売上高の増加、粗利益率の改善に寄与しました。量販店取引のホームファッションは堅調に推移し、ベビー子供服は大手取引先との取り組みにより売上高は増加しました。この結果、売上高30億53百万円(前期比25.6%増)、営業利益は1億16百万円(前期は4百万円)となりました。

寝装事業

売上高 **571** 百万円
セグメント別
売上高比率 **7.4** %

寝装事業は、ギフト販売は好調に推移しましたが、量販店・専門店取引は大手得意先への売上不振により売上高は減少いたしました。粗利益率の改善、販管費の削減に努めましたが減益となりました。この結果、売上高5億71百万円(前期比8.1%減)、営業利益は23百万円(前期比23.3%減)となりました。



トピックス

優待制度の変更

当社は株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社の事業や商品をご理解、ご支援いただき、当社株式を中長期的に保有していただくことを目的に、株主優待制度を実施しております。

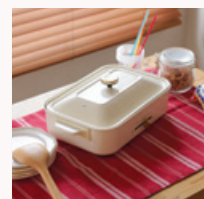
平成29年6月28日にRIZAPグループ入りしたことを受けて、株主の皆様へのより充実した優待内容を勘案した結果、下記の内容に変更させていただきました。

①優待内容を従来の2倍に変更

所有株式数	従来		今回
500株以上、1,500株未満	お買物券1,000円	➔	2,000円相当のRIZAPグループ商品
1,500株以上、2,500株未満	お買物券3,000円	➔	6,000円相当のRIZAPグループ商品
2,500株以上	お買物券5,000円	➔	10,000円相当のRIZAPグループ商品

②優待商品をRIZAPグループ商品に変更

今回の変更により、優待内容が倍増となるとともに、当社商品を含むRIZAPグループ各社が取り扱うバラエティーに富んだ商品の提供が可能となり、お選びいただける優待商品が大幅に拡大いたします。



※商品はイメージです。

配当方針の変更

当社は、創業以来株主への利益還元を重要な課題として経営してまいりました。この方針の下、経営状況に応じた「安定配当の継続」及び「事業基盤強化に向けた内部留保の活用」を実現するため、親会社であるRIZAPグループ株式会社の配当性向を鑑み、配当性向の基本方針を「20%を目安」とさせていただきます。

配当方針変更の理由としては、当社は、平成29年6月28日のRIZAPグループ入り以降、同社グループのグローバルSPA戦略の中核企業としての持続的な競争力の確立を推進しており、現時点においては、意匠燃糸事業、その他既存事業への成長投資を優先させ、配当及び株主優待制度等の株主還元策の更なる拡充は、安定的な収益基盤が確立されてから行う方針ですので、ご理解を賜るようお願いいたします。

当社グループ堀田(上海)貿易有限公司「スピンエキスポ上海」に出展

3月13日～3月15日、堀田(上海)貿易有限公司は「第31回スピンエキスポ上海」に出展いたしました。

この展示会は、中国上海にて開催される国際的なニット素材、ニットウェアの展示会で中国を中心に日本・韓国などアジア、ヨーロッパ、北アメリカなど世界各国の大勢の来場者が訪れました。

堀田(上海)貿易有限公司は、幅広い客層の来場に対する同社製品の周知を目的に、日本・中国素材の編地のほか、当社の素材を使用して、無縫製でウェアを成形するホールガーメントなどの製品サンプルを展示いたしました。

ほかに、PPT繊維を使用した新感覚のストレッチ素材は注目を浴び、3日間で多くの方に同社製品の魅力を伝えることが出来ました。



●会社概要 (平成30年3月31日現在)

会社名	堀田丸正株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号 TEL03-3548-8121 (代表)
設立	1933年2月 (創業1861年)
上場	1974年4月 (東京証券取引所 証券コード: 8105)
代表者	代表取締役社長 大西 雅美
事業内容	和装品、宝飾品、和装小物等の卸売販売、 婦人洋品等の製造・卸売販売、寝装品等の 卸売販売及び意匠燃糸の製造・卸売販売、 横ニットの企画・卸売販売
従業員数	連結 130名 単体 104名
資本金	2,937百万円
決算期	3月31日
売上高	2018年3月期 連結7,703百万円 (決算短信 発表数値)

●株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式数	60,000千株
発行済株式の総数	59,640千株 (自己株式3,395千株含む)
株主数	11,040名

●大株主 (上位10名) の状況 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
RIZAPグループ株式会社	35,000	58.68
堀田丸正株式会社	3,395	5.69
株式会社ヤマノホールディングス	1,937	3.24
中村 雅 幸	1,655	2.77
日本証券金融株式会社	866	1.45
GMOクリック証券株式会社	371	0.62
マネックス証券株式会社	294	0.49
株式会社SBI証券	276	0.46
株式会社ヤマノネットワーク	196	0.32
山野愛子どろんこ美容株式会社	179	0.30

●役員一覧 (平成30年3月31日)

代表取締役社長	大 西 雅 美
取締役	矢 部 和 秀
取締役	下 野 隆 充
取締役	井 上 徳 彦
社外取締役	小 島 茂
社外取締役	大 塚 一 暁
常勤監査役	丹 下 勝 視
社外監査役	水 野 孝 平
社外監査役	金 子 茂 男

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年次のとおりといたします。 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公 告して定めた日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載 いたします。 公告掲載アドレス http://www.pearly-marusho.co.jp/ ただし、電子公告による公告が出来ない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031